



特集！納涼大会



9月号トピックス

- ・ミュージシャン介護士コンサート
- ・今月の映画『フジコ・ヘミングの時間』
- ・スタッフ紹介
- ・2年目職員研修

〜西日本豪雨から学ぶ〜

台風7号と停滞した梅雨前線の影響で平成30年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に記録的な大雨が降り、33道府県で大きな被害が生じました。何故65才以上の高齢者が逃げ遅れて災害に遭遇するのでしょうか？今回も東日本大震災と同様の精神的な考え方が影響しているようです。

正常性バイアスが働いて、人間は自分自身にとって不都合な情報は遮断することになります。今まで生きて来た人生の中で一度も経験したことのない災害に対して「ありえないこと」「自分だけは大丈夫」と思ってしまいます。災害を過小評価してしまい、災害に巻き込まれてしまうようです。

1つのエピソードとして、ある市町村で責任者が何度となく危険がせまっているので早く避難して下さいとマイクで叫びましたが、住民は動きません。そして、最後に「私も今から避難します。これが最後の避難放送です。」とマイクで話をした時に、やっと住民が避難してくれたとのこと。危険をいかに伝えるか、本当に大切な問題です。情報を的確に伝えて行動を起こしてもらおうことが常に多くの命を救うと胆に銘じておく必要があります。



【理事長 北嶋勇志】

納涼大会


8月5日(日)今年も盛大に納涼大会を開催しました。昼食には、焼きそばやカレー、おでん等屋台メニューをご用意し、皆様美味しそうに召し上がっておられました。



14時からは各ボランティアの皆様によるパフォーマンスでお楽しみいただきました。今年は5つの団体の皆様がお越し下さり、歌にダンスに腹話術にと大変盛り上がりました。また来年の開催が楽しみです。



8月にご協力いただいた
ボランティアの皆様ありがとうございました。
(敬称は省略させていただきます)



- ・誕生日会ピアノ伴奏 : 北嶋 庸子
- ・折り紙 : 廣瀬 公子
- ・仲良しグループ (歌、踊り) : 西村 敦子、中川長江、仲 村枝、平原多加子、平本弘美、竹下夏子、鎌倉光子
- ・お楽しみ会 (歌謡ショー) : 中南 正、佐藤 勲、小倉時子、金田芳枝、増井恵子、森川剛志、須貝敏子
- ・桜コーラス : 入江千恵、暮石良子、高木宏子、常本リサ子
- ・ギター、歌 : 木原 透、西野朋子
- ・腹話術 : 「あすなろ」の皆様
- ・フラダンス : 「パカラナ」の皆様
- ・尺八演奏 : 「三田市シルバー人材センター 尺八サークル 竹の響」の皆様

月間イベント予定

9月

2日(日)敬老の日会	11日(火)ピアノ弾き語り
4日(火)生け花	19日(水)書道
5日(水)誕生日会	21日(金)お楽しみ会(歌謡ショー)
8日(土)仲良しグループ(歌謡)	25日(火)折り紙
10日(月)懐メロを楽しむ会	26日(水)絵手紙

10月

2日(火)生け花	16日(火)折り紙
3日(水)誕生日会	17日(水)書道
7日(日)秋祭り会	19日(金)お楽しみ会(歌謡ショー)
13日(土)仲良しグループ(歌謡)	24日(水)絵手紙



※予定は変更になる場合があります。

ミュージシャン介護士コンサート 7月19日(木)

経営企画室



今回、初の試みで楽器ができる介護スタッフの中から、人前で演奏したいというスタッフでバンドを結成し、コンサートを開催しました。2階南ブロックの大道介護士と3階北ブロックの長永介護士、そしてアドバイザーとして大坪音楽療法士の3人で行いました。バンド名は偶然にもイニシャルが同じでそれぞれの頭文字を取って「トリプルオー」。

曲は「カントリーロード」「上を向いて歩こう」等、ご入居者の皆さんも良く知っている歌を中心に披露しました。ボランティアさんがされるパフォーマンスの時と比べ、日頃から顔を知っているスタッフが楽器を持って歌っている姿が印象的だったのか、多くのご入居者が新鮮な雰囲気鑑賞されている様子でした。



フジコ・ヘミングの入魂のピアノが堪能できるドキュメンタリー

経営企画室 岸本朋子



フジコ・ヘミングの時間

2018年 ドキュメンタリー邦画

フジコ・ヘミングがそのドキュメンタリーで世界に広く認知されたのが60歳代の頃、あれから約20年の年月を経て、今年初ドキュメンタリー映画ができました。『魂のピアニスト』と呼ばれた彼女に魅了され、以降もコンスタントに彼女の音楽活動を追いかけているファンには失礼ながら、一過性のものとして記憶の彼方にあったものを手繰り寄せる機会となりました。

80歳代にして尚、世界ツアーをこなしてしまうその精力的な人生には脱帽です。映画の中の彼女は『心は16歳のままなのよ。でも実際の年齢を考えるとゾッとするわ。』と言ってのけ、髪をくるくるとカールしてもらいながらも、マネージャーをつけず自分でスケジュールを管理するという乙女とキャリアウーマンが共存する何とも魅力的な女性でした。

彼女の長いピアノ人生での超絶技巧に関して語る術は持ち合わせておりませんが、痛みや重みと共に情景が浮かぶと評される彼女の魂のピアノが、ドビュッシー『月の光』やリスト『ため息』ショパン『ノクターン』といった馴染みの曲で堪能でき、クラシックに造詣が深くない鑑賞者でも存分に楽しめる映画となっています。

特に終盤にて彼女のピアノを弾くシーンを鍵盤の真上から捉えたリスト『ラ・カンパネラ』は息をのむ程圧巻でした。『天国行っても楽しい事ばかりじゃつままないと思うわ。センチメンタルな事もないと。』良家の出ながらも母子家庭で、一時期は国籍を失い難民扱いの屈辱、極貧の生活を経験し聴力を失うという壮絶な半生に脚光を当てられた60代の時のドキュメンタリーとは明らかに違います。

世界に名を馳せた60代での人生激変をしみじみと語るものの、画家の父親ゆずりの才能で描いた絵を飾り『名前は残らなくても家は残したい』というパリ、NY、東京、京都の家や大好きな犬や猫に囲まれたライフスタイルを中心に、彼女の晩年のいやいやまだ続くだろう豊かな時間を共有できる映画でした。終わりよければすべてよし。ぜひご覧あれ。

★スタッフ紹介！



さこだ ますみ
氏名：迫田 真澄

趣味・特技：カラオケ

宝物：今まで出会った人達

【仕事で心がけていること】
笑顔を決やさないことを心がけています。

介護の仕事は初めてでまだまだ戸惑う事もたくさんありますが、毎日楽しく働かせていただいています。ご入居者の皆様に快適に過ごしていただけるよう頑張ります。よろしくお願いします。



ささもと あきこ
氏名：笹本 彰子

趣味・特技：食べ歩き

宝物：子供

【仕事で心がけていること】
ご入居者お一人おひとりの気持ちを大切にします。

7月に生活相談員として入職しました。特養は初めてで至らない事ばかりですが、ご入居者の皆様が穏やかに過ごしていただけるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

2年目職員研修



7月から9月にかけて毎月1回、入職2年目の職員に対して施設内研修を行っています。

7月24日（火）初日、この日は接遇や介護技術、リスクマネジメント等、日々の業務の中で特に重要なカテゴリを一緒に振り返りました。接遇の研修では、先日中原室長が受講した「バリデーション」のセミナーを参考に、実践で使えるコミュニケーション上のテクニックなど学びました。「ユマニチュード」より歴史が古く、様々なコミュニケーション法を使い分けながらご入居者の精神面のサポートを充実させていきたいと思っております。介護技術では、二人介助をする際の注意点等を振り返りました。二人介助は両者が互いに意識していないと、片方の職員に負担がかかり、結果ご入居者にも負担がかかることがあります。そうならないように、ポイントを押さえながら行いました。このように施設内研修も充実しています。



苦情相談窓口の注意事項

苦情相談は苦情受付担当者を窓口として苦情相談受付ボックスにて受け付けております。ユニットの介護・看護職員でなく、苦情受付担当者にお申し出くださいますようお願い申し上げます。ご協力の程よろしくお願い致します。



今回ご紹介したミュージシャン介護士ですが、来年度からの新卒の方を対象に新しく設けた職種です。それに先駆けて、ギターが得意な長永さんと大道さんが施設内デビューを飾ってくれました。次回は秋ごろにコンサートを予定しています。またご入居者の皆様の笑顔に会えるのが楽しみです。

